

強ク落付クヤウ、親マサリノ人也、中々並々ノ人ノ相手ニ非ズ、又此ニ候書留ヲ御覽被遊ヨト  
 差上ラル、得ト御覽アリテ、朕ガ思召スヨリハ、殊ニ徳川ハヨキ心入也、カ、ル上ハ東西彌ムツ  
 マジクゾ、何モヨク、計ヒ奉レト、其由關東へ聞エケレバ、何事ナク皆内々ニテ治リ、御互ニ  
 御感心ノ御コト、カヤ、カクテ門院御所東福門院ノ仰ニ、關東ノ忠信ハサラ也、サレドモ一旦御  
 物好ニテ不審ノ所ニ、事ハ治レドモ、此上眞實安堵アル様ニト、仙院後水尾ノ仰ニ、連枝コソヨク心  
 底ヲシラルベシ、御答ニ、家光ハ殊更祖父ノ徳ヲ慕フコト若キ時ヨリ人ニ超タリ、祖父既ニ神  
 位ヲ得ラレシコトナレバ、何トゾ密カニ御庭ニ權現ノ御祀アラバ、其勳功ヲ賞シ玉フ叡慮ヲ  
 深感申サレント、ゲニモト思食勅作アリテ、尊像ヲ密ニ御祀アリケリ、此後ニ關東ヨリノ男女  
 ノ人々ニ、門院カク御祭ノ叡慮厚キコト御噂被爲、在シカバ、御兩地誠ニ寬仁大度、永久ノ御吉  
 兆、御和熟ナルコソ恐悅ナレ、

右ハ文言御縁起ヲ以、理長、慶安中ニ直諫ノ時、書付テ差上ラレシノ寫也、

○按ズルニ、後水尾天皇、徳川氏ニ快カラズシテ、突然明正天皇ニ御讓位アリ、爾來公武ノ間常  
 ニ圓滑ナラザリシヲ、大納言局、其間ニ往來停調スル所アリ、是ニヨリテ家光屢上洛シテ仙洞  
 ニ觀シ、ナホ叡志ヲ迎ヘテ、明正天皇ノ御讓位ヲ促シタルモノナリ、

〔十三朝紀聞後四院〕寬文二年十月、大將軍德川家綱使松平民部少輔、板倉筑前守、入議讓位事、

〔續史愚抄後西院〕寬文三年正月廿六日乙未、天皇御年廿七讓位於儲皇二品、識仁親王靈元御弟也、後於光明院御養子、於

假皇居右大將基淵、今出川第、被行節會、内辨左大臣房輔、外辨權大納言賴業、已下六人參仕、以清閑寺中納言

源房爲宣命使、奉行藏人左少辨光雄、其後被渡、劔璽于新主御所土御門里内、公卿諸司等供奉、奉行藏人

右少辨方長、於内侍所者可爲明日廿二日云、違例、

〔翁草十九〕新帝踐祚之事